



平成 29 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 日 本 基 礎 技 術 株 式 会 社  
 代 表 者 名 取 締 役 社 長 中 原 巖  
 (コード番号 1914 東証 第 1 部)  
 問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 事 務 管 理 本 部 長 尾 崎 克 哉  
 (TEL 03 - 5365 - 2500)

### 特別損失(個別)の計上および第 2 四半期累計期間の業績予想と 実績値との差異に関するお知らせ

当社は、平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の個別決算において特別損失を計上するとともに、平成 29 年 5 月 15 日に公表しました平成 30 年 3 月期第 2 四半期累計期間の業績予想と本日公表の決算値との差異について下記のとおりお知らせいたします。

記

#### 1. 特別損失の計上について

(関係会社貸倒引当金繰入額)

第 2 四半期累計期間の個別決算において、連結子会社に対する債権に対し関係会社貸倒引当金繰入額 475 百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

#### 2. 業績予想との差異

平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1 株当たり四 半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,500	百万円 △120	百万円 △70	百万円 △110	円 銭 △3.89
実績値 (B)	10,990	174	274	20	0.72
増減額 (B-A)	1,490	294	344	130	—
増減率 (%)	15.7%	—	—	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	10,336	△452	△595	△634	△22.45

平成 30 年 3 月期第 2 四半期(累計)個別業績予想数値の差異(平成 29 年 4 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株当たり四半 期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 9,100	百万円 220	百万円 △100	円 銭 △3.54
実績値 (B)	10,182	728	26	0.94
増減額 (B-A)	1,082	508	126	—
増減率 (%)	11.9%	230.9%	—	—
(ご参考)前期第 2 四半期実績 (平成 29 年 3 月期第 2 四半期)	8,362	50	△461	△16.34

### 3. 差異理由

#### (第2四半期累計期間の個別業績)

個別業績につきましては、手持ち工事の進捗が当初の想定を上回ったことにより、前回予想からの売上高の増加額は1,082百万円となりました。

利益面につきましては、売上高の増加によって、経常利益が前回予想から508百万円の増加となりましたが、四半期純利益は、特別損失に関係会社貸倒引当金繰入額475百万円を計上したため、前回予想からの増加額は126百万円にとどまりました。

なお、個別財務諸表上にて特別損失として計上いたしますが、連結財務諸表上では全額消去されるため、連結業績への影響はありません。

#### (第2四半期累計期間の連結業績)

個別修正理由に加えて、国内子会社で工事の進捗が想定を上回ったことにより、売上高の前回予想からの増加額は、1,490百万円となりました。

利益面においては、米国現地法人の工事採算が低下したため、前回予想からの増加額は、営業利益で294百万円、経常利益で344百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益で130百万円となりました。

### 4. 通期業績予想

平成30年3月期の通期業績予想につきましては、平成29年5月15日に公表しております予想数値から変更はありません。

以 上